

別記第5号様式(第8条関係)

平成28年度政務活動費収支報告書

平成29年3月31日

北広島市議会議長 佐藤 敏男 様

会 派 名 自由新生クラブ

代表者名 橋本 博



北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり平成28年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収 入 政務活動費 468,000円

2 支 出

使途基準項目	金 額(円)	内 容
研究研修費	18,000円	札幌・石狩地方議員連絡協議会 会費負担金
調査旅費	248,490円	会派視察 航空券代・列車代・宿泊代 他
資料作成費	33,629円	用紙代・インクカートリッジ代 他
資料購入費	0円	
広報費	77,349円	市政報告会 施設使用料 印刷代 他
広聴費	0円	
要請及び陳情活動費	0円	
合 計	377,468円	

3 残 額 90,532円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

年 月 日			支出額	内 容
28	6	23	199,650	行政視察(7月25~27 福岡県福岡市、佐賀県武雄市、福岡県筑後市・3名) 航空券、宿泊費 (パック料金)
28	7	15	27,150	同上 交通費(JR券)
28	7	25	3,540	同上 交通費(JR券)
28	7	27	11,220	同上 タクシー代金
28	7	25	6,930	同上 土産代(菓子折り)
合 計			248,490	

会派名 自由新生クラブ

使途基準項目別支払調書(資料作成費)

年 月 日			支出額	内 容
28	8	31	15,000	コピー代
29	2	5	18,629	インクカートリッジ代
合 計			33,629	

会派名 自由新生クラブ

使途基準項目別支払調書(広報費)

年 月 日			支出額	内 容
28	8	31	7,149	市政報告会(9月1日 北広島市) 説明用レーザーポインター代
28	8	4	10,840	同上 施設使用料
28	9	1	3,200	同上 施設使用料
28	8	31	1,080	同上 参加市民用 筆記用具代
28	9	27	8,640	同上 お茶代100本
28	10	17	46,440	同上 チラシ、ポスター等印刷代
合 計			77,349	

視察報告書

視察日時 平成28年7月25日 月曜日 14時30分～17時00分

訪問都市名 福岡県福岡市 福岡ソフトバンクホークス株式会社

福岡市人口 818,687 人 (6月末現在)

担当者 経営管理本部 社長室長 大西 富美子 様
経営管理本部長 大脇 満朗 様
球団統括本部 浜崎 剛男 様

まち・企業の特色・歴史等 福岡市(ふくおかし)は、九州の北部にある福岡県の西部に位置する人口約156万人(2017年2月現在)の市である。福岡県の県庁所在地であり、政令指定都市である。創業のための雇用改革拠点として、国家戦略特区にも指定されている。人口規模は日本の市で5位、九州地方では最大の市である。

視察選定に至る経緯 当年、5月に北海道日本ハムファイターズが、札幌ドームからの本拠地移転構想を明らかにし、その候補地として北広島市が候補に入った。これを受け、議会としても誘致活動に積極的な姿勢を示すとともに、プロスポーツに関する情報収集や課題点を調査研究するため、先進地である球団から球団経営と都市との関わり合い等を学び、誘致活動への市民への対応等必要となり視察を行う事となった。

視察及び意見交換 1988年、南海ホークスのダイエーへの身売りを受け、福岡ダイエーホークスとなり、1992年に日本初の開閉式屋根を持つドーム球場として福岡ドームが完成すると同時に、本拠地を移転する。2004年、IT企業大手のソフトバンク(現在のソフトバンクグループ)が球団を総額200億円で買収することなどを正式発表、その後、現在のソフトバンクホークスとなる。同時にソフトバンクとホークスタウンは、営業譲渡と合わせ20年間の福岡ドーム使用契約を結んだ。1年間の球場使用料は48億円となる。また、同日付でコロニー・キャピタル傘下のホークスタウンが所有する興行権を150億円で取得する営業譲渡契約を締結することで合意した。

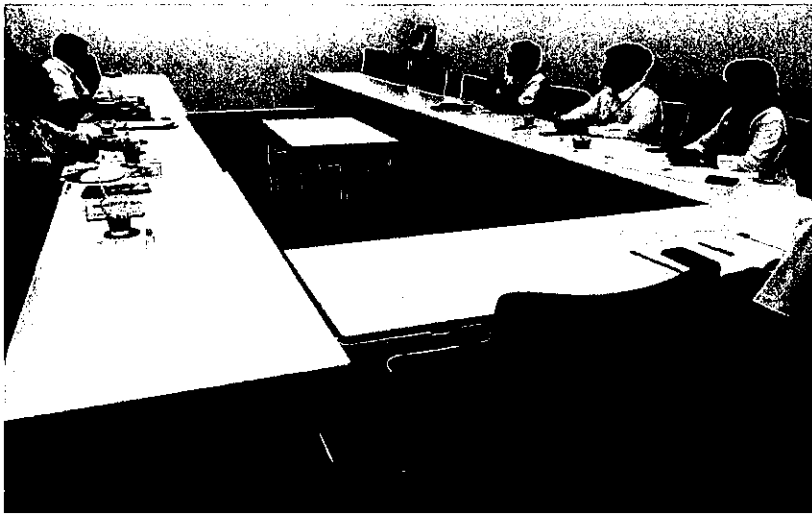
球団幹部から、球団の歴史・他球団の例から本拠地都市との関わり合い、大まかな収支状況、球団運営に係る諸経費等の説明を受けた。今後、当市(北広島市)が球団に対するプロポーザルとしての内容で、球団は行政に何を望むか・福岡県や福岡市との関わり合い、など率直なご意見を賜った。

特に、博多駅からのアクセス、地下鉄・シャトルバスの運営、など公共交通の利便性があっても、やはりマイカーで訪れるファンが多く、駐車場の台数が少ない点がネックであるなど、いまだ経営手法は試行錯誤中であるとのことであった。

二日後に、二軍・三軍施設のある筑後市を視察するに当たり、移転までの様々な課題点や行政との関わり合いについて、球団幹部からの生の意見を伺えたことは、大変有意義であった。

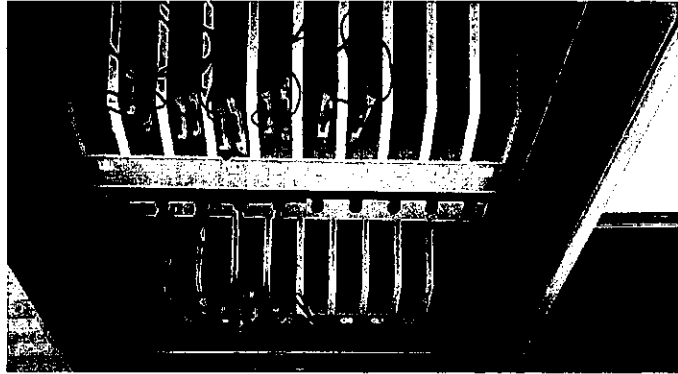
この後、ドームツアーに参加させて頂き、球場内部やスタンド・グラウンド・ベンチ裏など、日常見えない部分などをツアーガイドから伺った。

最後に、ボールパーク構想の中にホテル建設もあることから、隣接するホテルを案内頂き、見学した。



視察報告書

視察日時	平成28年7月26日 火曜日 9時00分～15時00分
訪問都市名	佐賀県武雄市 武内小学校および武雄市立図書館
人口	49,833 人 (6月末現在)
担当者	武雄市教育委員会 教育長 浦郷 究 様 " スマイル学習課 小柳 係長 ほか
まちの特色・歴史等	武雄市(たけおし)は、佐賀県の西部に位置する市。佐賀市と長崎県佐世保市の中間に位置する町で、町の中心には開湯以来1300年経つ武雄温泉があり、この温泉には日本銀行や東京駅の設計を行った辰野金吾設計の楼門があり、国の重要文化財に指定されている。 2006年(平成18年)3月1日 北方町・山内町と新設合併し、武雄市となった。
視察選定に至る経緯	武雄市は、ICTを導入した先進学習地として有名であり、多数の行政視察がある町である。スマイル学習と呼ばれ、民間学習塾と共同で教育プログラムを構築し、「はなまる学習」として市内小学校において先進的授業を取り入れている。 また、武雄市立図書館は、全国で初めて「CCC・通称ツタヤ」と提携し新しい形の図書館運営を行い、県内外から多くの来館者がある佐賀県の中でも突出した観光地にもなっている。当市でのICT教育と、図書館運営に関し先
視察及び意見交換	武雄市では、iPad の日本発売(2010 年5 月)の直後の2010 年12 月、全国の小中学校に先駆けて、山内東小学校に40 台のiPad を導入した。これが、武雄市のICT を活用した教育の第一歩となった。 市は2013 年12 月、「武雄市小中学校タブレット端末導入選定委員会」にて、機種を選定を進め、2014年1 月、恵安製7 インチのデバイスの導入を決め、2014 年4 月に全小学生約3,000 人に、デバイスを配布した。 その導入したデバイスを用いて、2014 年5 月から全小学校3 年生以上の算数、4 年生以上の理科で武雄式反転授業である「スマイル学習」を開始した。 このスマイル学習は、(S=school, M=movies, I=innovate, L=live, E=education classroom)を略したもので、「先生(学校)の動画によって、教室がより革新する授業(学校と家庭がシームレスにつながる学習)」を意味したものである。 市立武内小学校で行われた、夏季授業公開では市内外から多数の教育関係者が訪れ、朝一番から大変熱気のある、素晴らしい授業を視察した。タブレットを使い立体形の作成や、タブレットに収納した教員が作った家庭学習画面を復習したりと、教員も児童もICTを大いに活用できている授業である。 体育館で行われている、学年交流による体育授業も見学し、これも熱気あふれる素晴らしい体育授業であった。 武雄市図書館では、担当者の説明等は行っておらず、自由見学という形で視察をした。通常図書館と販売されている本・雑誌とが、見事な配列で配置されている。中にはスターバックスカフェが運営され、販売されている雑誌も貸出図書も、自由に読みながら飲み物を楽しむ新しい業態である。夏休みという事もあり、県外ナンバーの自家用車も多く、貸出・販売と入館者が多く、大変盛況であった。



視察報告書

視察日時 平成28年7月27日 水曜日 9時00分～12時00分

訪問都市名 福岡県 筑後市 ホークスタジアム筑後

人口 48,388人（7月末現在）

担当者 筑後市 議会事務局 局長 船橋義顕 様
筑後市 建設部 部長 西田 正春 様
筑後市 ホークスファーム連携推進室長 江崎 紹泰 様

まちの特色・歴史等 筑後市（ちくごし）は、福岡県南部の筑後平野の中央に位置するほぼ平坦な田園都市。福岡市からJR九州鹿児島本線で約45分、自動車では約1時間の距離にある。
ソフトバンクホークスは2011年のシーズンより3軍制を導入したが[5]、手狭で福工大や春日、小郡といった福岡県内の外部野球場を借りてしのぐ状態となり、サブグラウンドが望まれることからファーム本拠地を移転する構想が浮上した。
福岡市側は「集客効果は福岡市が一番条件がそろっている」と引き留めに自信を見せていたが2013年8月2日移転先候補地の募集が行われた。これに呼応して5県34自治体が名乗りを上げ誘致合戦となったが、一次審査で北九州市、福岡市、筑後市、宮若市の4市に絞りこまれたのち、2013年12月25日筑後市が選定され[10]、2014年3月27日調印式が行われた。
2016年2月に選手寮や屋内練習場が竣工、2016年3月15日に「ホークスタジアム筑後」が竣工した。

視察選定に至る経緯 平成28年6月、北海道日本ハムファイターズの本拠地移転案が発表。それにあわせ、北広島市総合運動公園予定地が候補地となっていることが分かり、誘致成功までの早期の情報収集を必要とした。
当会派は、先進地に学ぶべく上記による誘致成功例がある筑後市を視察選定、市と市民と議会がいかにして三位一体となり推進できるか、先進地に学ぶものである。

視察及び意見交換 二軍施設ではあるが、5県34自治体が立候補し、筑後市が選定されたまでの経緯を詳細に説明頂いた。その間、球団との情報交換の数々、プレゼンテーション、候補地に対する球団のニーズなど、相当な仕事量であったと説明があった。
新幹線の筑後船小屋駅の500メートルの移設と、近隣駐車場の確保に苦労したとの内容。鉄道が便利であっても、7割の観客はマイカーでの来場であり、アドバイスとして相当な駐車場が必要ではとの意見があった。特段、広大な北海道であればの事とのご意見であった。
議会对応としては、議長を筆頭に判断のスピードが常に求められ、時に球団から夜中の連絡に対し、議長が議員招集し判断をしたケースもあったと聞いた。

税制負担、条例制定による球団との連携締結、土地や周囲の住民説明と市側は対応のスピードと実行力を求められる事を特に感じた次第である。球場、球団施設、駅周辺等を丁寧に案内頂き、施設の素晴らしさを目の当たりにした。選手との距離が近く、練習中の選手と気軽に話せるファンサービスの在り方など、先進地の視察としては大変有意義なものとなった。

施設に関しては、球団が総工費50～60億円をかけて「ホークスタジアム筑後」、「ホークスタジアム筑後第二」、屋内練習場、クラブハウス、選手寮を建設した。土地はタマホームや民有地を筑後市が10億円で買い取り、球団側に20年間無償貸与されている。4億5千万円かけて市が土地を造成

